

堀岡 敏喜 議員 公明党



問 第2期総合戦略、新たな取組は

答 各種施策を着実に推進

コロナ禍の影響により市民生活は大きく変容している。改めて弥富市は将来的にどのような人口ビジョンを持ち、第2期総合戦略ではどのように取り組んでいくのか以下を問う。

問 第1期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、市長総括を。

答 (市長) 市内事業所就業者数、合計特殊出生率、子育て世帯の転入超過数、自治会加入率、住みよさランキングについて基準値未満という厳しい結果。総合戦略を継続して推進し、新たな事業展開などを考えている。成果を上げるには一定の時間が必要。

問 市の「人口ビジョン」についての基本的な方向性、取り組みは。

答 (総務部長) 出生率を向上させ、人口減少に歯止めをかけ、調和的な人口構造を目指す。転出の抑制と転入の増加により人口規模の安定と確保を図る。地域の活力を向上させ、若い世代が集まり、安心して働き、希望通りに結婚し、子どもを産み育てることができるとの施策を着実に推進。

問 県立高校の統廃合による影響は。

答 現時点では不明。

問 課題を見つけ共有し、改善せよ

答 市民と行政の協働を進める

人口減少や「東京一極集中」に歯止めをかけ、将来に向け魅力ある地域づくりを目指す「地方創生」への取り組みについて以下を問う。

問 仕事づくりに関して具体的な取り組みは。

答 (総務部長) 地域産業の育成と多様な人材の活躍促進など、労働市場の向上に取り組む。

問 人の流れに対する認識、今後の取り組みは。

答 駅周辺整備、幹線道路など定住環境整備を推進する。

問 結婚・出産・子育てへの認識と取り組みは。

答 結婚・出産をきっかけに転出が多いことから、子育て関連施策をさらに充実させる。

問 まちづくりに関して、現状の認識と今後の展望は。

答 コミュニティ意識の啓発や参加促進など、個性豊かで自立した地域づくりを支援していく。

問 市長総括を。

答 (市長) 市民と行政が目的意識を共有し、対等な関係で協働することで地域力強化を行い、真に快適で安全安心な暮らしの実現を目指す。



▲第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略



▲弥富市人口ビジョン(令和2年度改訂版)